

課 題 ブドウの CX-10 による催芽処理時期の検証（1 年目）

1 背景・ねらい

CX-10 による休眠打破効果により、無加温ハウス栽培における収穫時期の前進化のほか、樹や主枝単位で処理時期を調整することで作業時期や収穫時期の分散化ができないか検討するため、CX-10 の処理時期を変え、その後の成長や開花、房の成熟等を比較した。

2 試験構成及び結果

供試品目にシャインマスカット、藤稔、クイーンニーナ、ピオーネを用いた。CX-10 の処理時期による萌芽時期と展葉開始時期への影響を調査した。いずれの品種も無処理区より、1 週間から 10 日ほど早まる傾向がみられた。また、処理時期が早いほど萌芽時期が早まる傾向がみられた（表 1）。

開花時期及び果実成熟時期への影響についても同様に早まる傾向がみられるものの、一部の房では成熟が CX-10 処理区と同程度の時期になるものもあった（表 2）。

以上の結果から、CX-10 処理により萌芽時期が無処理よりも早まり、時期の前進化を目的とする場合は 12 月処理が適していることが示唆された。また、萌芽時期が早まることで収穫時期も前進化する傾向にあるが、糖度の上昇時期が萌芽時期にみられた時間差から縮まる傾向もあった。これについては成長期の日照や気温等の環境条件により、遅れて萌芽した芽の成長が進み、まだ低温が残る時期に萌芽した結果枝に成長が追いつくなどの影響が推察された。

3 今後の展開や結果の活用

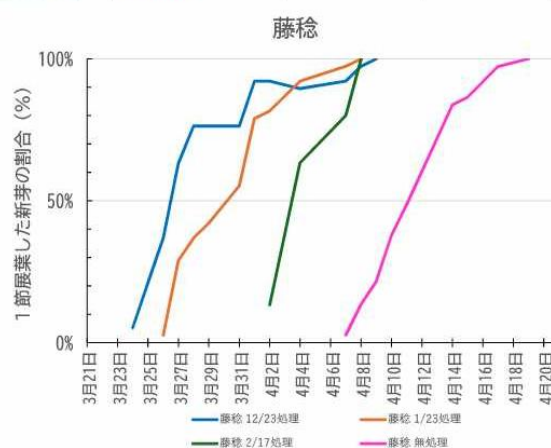
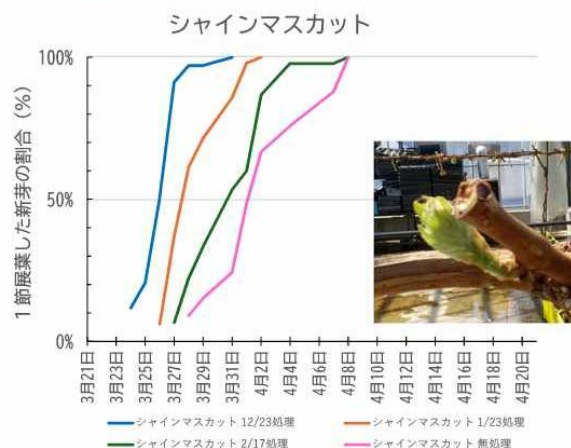
生産者の会合にて結果を説明し、CX-10 の活用について提案していく。

表 1 CX-10 処理による萌芽時期及び展葉時期への影響比較

試験区	萌芽開始	50%以上
12/23処理	3/13	3/17
1/23処理	3/17	3/21
2/17処理	3/21	3/24
無処理	3/24	3/26



試験区	萌芽開始	50%以上
12/23処理	3/13	3/13
1/23処理	3/14	3/21
2/17処理	3/24	3/24
無処理	3/26	4/4



試験区	萌芽開始	50%以上
12/23処理	3/14	3/24
1/23処理	3/14	3/27
2/17処理	3/24	3/27
無処理	3/25	4/4

試験区	萌芽開始	50%以上
12/23処理	3/13	3/24
1/23処理	3/17	3/24
2/17処理	3/19	3/26
無処理	3/19	4/4

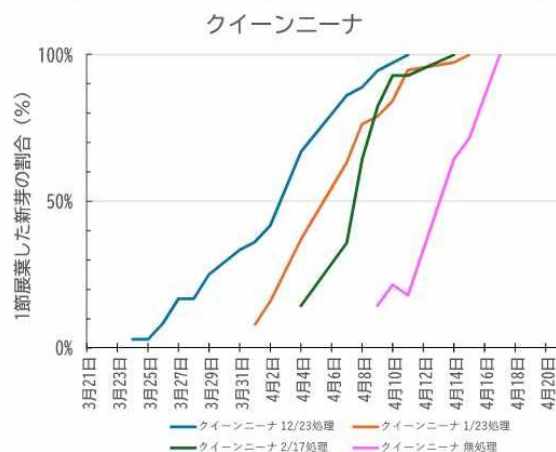
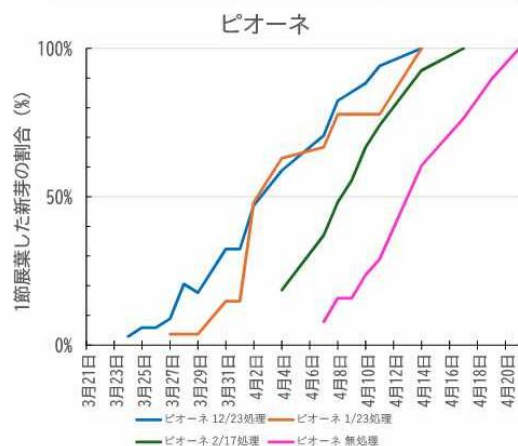


表2 CX-10 処理による開花時期及び果実成熟時期への影響比較

(1) シャインマスカット

1 開花時期 (GA1 回目処理)

シャインマスカット	GA1回目処理日 (≒満開日) と処理した穂の割合					
	5/15	5/19	5/20	5/21	5/23	-
12/23処理	18%	73%	3%	8%	0	-
1/23処理	0	75%	5%	20%	0	-
2/17処理	0	47%	0	33%	19%	-
無処理	0	46%	0	50%	4%	-

2 成熟時期 (5房平均。各調査日で最下位の果粒を採取し、果汁を計測)

シャインマスカット	GA1回目処理日	糖度の推移 (Brix%)			pHの推移		
		7/25	7/30	8/6	7/25	7/30	8/6
12/23処理	5/19	17.9	19.2	20.5	2.92	3.07	3.38
1/23処理	5/19	17.7	19.1	20.5	2.80	3.03	3.34
2/17処理	5/19	16.2	18.1	19.6	2.73	2.98	3.21
無処理	5/21	16.8	18.4	19.3	2.67	2.82	3.21

(2) 藤稔

1 開花時期 (GA1 回目処理)

藤稔	GA1回目処理日 (≡満開日) と処理した穂の割合					
	5/13	5/15	5/18	5/19	5/20	5/23
12/23処理	69%	21%	10%	0	0	0
1/23処理	0	56%	41%	0	4%	0
2/17処理	0	20%	72%	4%	4%	0
無処理	0	0	21%	42%	33%	4%

2 成熟時期 (5房平均。各調査日で最下位の果粒を採取し、果汁を計測)

藤稔	GA1回目 処理日	糖度の推移 (Brix%)			pHの推移		
		7/18	7/23	7/28	7/18	7/23	7/28
12/23処理	5/13	17.4	18.4	18.9	2.32	2.32	2.54
1/23処理	5/15	17.4	18.9	19.8	2.09	2.20	2.40
2/17処理	5/18	17.1	19.1	20.2	2.14	2.18	2.33
無処理	5/19	16.6	19.1	20.3	2.09	2.33	2.39

(3) クイーンニーナ

1 開花時期 (GA1 回目処理)

クイーンニーナ	GA1回目処理日 (≡満開日) と処理した穂の割合					
	5/15	5/18	5/19	5/20	5/21	5/23
12/23処理	8%	64%	19%	8%	0	0
1/23処理	0	33%	0	58%	0	8%
2/17処理	0	0	73%	0	24%	3%
無処理	0	0	4%	0	28%	68%

2 成熟時期 (5房平均。各調査日で最下位の果粒を採取し、果汁を計測)

クイーン ニーナ	GA1回目 処理日	糖度の推移 (Brix%)			pHの推移		
		7/30	8/6	-	7/30	8/6	-
12/23処理	5/18	21.4	22.6	-	2.47	2.73	-
1/23処理	5/20	20.3	21.1	-	2.44	2.69	-
2/17処理	5/19	19.2	20.5	-	2.39	2.71	-
無処理	5/23	19.4	21.3	-	2.31	2.65	-

(4) ピオーネ

1 開花時期 (GA1 回目処理)

ピオーネ	GA1回目処理日 (≡満開日) と処理した穂の割合					
	5/18	5/19	5/22	5/25	5/28	-
12/23処理	18%	29%	50%	4%	0	-
1/23処理	21%	29%	50%	0	0	-
2/17処理	0	11%	83%	6%	0	-
無処理	0	0	28%	50%	22%	-

2 成熟時期 (5房平均。各調査日で最下位の果粒を採取し、果汁を計測)

ピオーネ	GA1回目 処理日	糖度の推移 (Brix%)			pHの推移		
		7/29	8/7	8/14	7/29	8/7	8/14
12/23処理	5/19	20.2	21.1	20.6	2.29	2.44	2.56
無処理	5/25	19.5	21.1	20.7	2.25	2.51	2.53